

令和5年度 学校評価 保護者アンケート自由記述 回答

貴重なご意見をたくさんいただきました。厚く御礼申し上げます。できる限りの回答を試みましたが、十分ではないものが多く、申し訳ありません。学校全体に関わるものでないご意見、個人が特定できるものは割愛させていただきました。ただし、その内容はしっかりと受け止めております。

また、担任や学校を温かく評価し、ご支援くださった多くの保護者様のご感想に、心より厚く御礼申し上げます。
校長 木梨 朋幸

●登下校・放課後

朝、7:20 から 30 頃、昇降口が開く前、沢山の子供達が、子供達だけで昇降口前で待っており、付近に先生方も見受けられません。八千代市から不審者のお知らせメールも頻繁に来ますし、この時間帯、誰か 1 人でも先生か職員の方を、昇降口前に配置してもらえないでしょうか？不審者が簡単に入ってこられる状況なので、子供達だけだと心配です。

⇒すべてのケースに当てはまるとは思っていませんが、不審者が出没する時間帯や状況は、放課後の子どもが一人または少数の場合が多いです。子どもを傷つける目的で侵入してくる犯罪者に対応するためには、民間の警備員を雇うしかないと考えます。職員の勤務開始時刻は 8:05 であり、交通安全指導、朝のメールチェック、教室や廊下の換気、7:45 の3か所の昇降口開門、子どもたちとの落葉清掃などの奉仕活動はすべて勤務時間外に善意で行ってもらっているものです。現状、専属で昇降口に配置できる人員は準備できません。現状のマンパワーで善処いたしますが、もし、どうしてもご心配が尽きないならば、7:45 以降に昇降口に到着するよう、ご自宅を出る時刻を調整していただくことをお勧めいたします。

家で使用しない教科書等を置いて帰る事が可能になればもう少し子ども達の行き帰りが楽になるのではないかと思います。ランドセルが重く、行き渋りや道端で座り込んでいるため。

⇒学校内で共通理解を図っていたつもりですが、なかなか徹底できておらず申し訳ありません。持ち帰る必要のない学習用具を置いていくこと、いわゆる「置き勉」を積極的に進めていますが、再度周知していきます。

学校外の下校時などの子ども同士のトラブルなどを子どもが先生に相談しづらいので、個別に子どもの話を聞く時間を少し取って頂けたら嬉しいです。

⇒学校としては、月に1回は「ひまわり週間」もしくは「学校生活アンケート」の実施、相談ポストの設置など、子どもたちへの支援は行っているつもりです。ただ、ご指摘のとおり、日常的なトラブルに関しては、その都度子どもたちからの訴えが欲しいのが正直なところです。もし、担任に伝えづらい状況があると保護者さんが判断されたならば、連絡帳などでお伝えいただければ、休み時間などを使って対応できると思います。

●学校生活

暑い日が続く時期は学習着を頻繁に持ち帰る指導をして欲しいです。

⇒お気持ちは十分わかるつもりです。子どもたちに任せていたら、子どもによっては学習着が大変なことになっていることもあるでしょう。初夏から残暑にかけて、担任たちが共通の認識で指導できるよう配慮していきます。ただ、学年の発達段階、汗かきの個人差、使用頻度、家庭にある学習着の枚数など、学

校一律では指導できない部分もあることをご理解いただきたいです。

インフルエンザの流行で、2 学期の授業参観がなくなってしまい、学校での様子が分かりにくくなってしまいました。嫌がらずに学校に行けているので、様子は分からないけれど、まあまあ楽しくやっているのかな、といった感じで捉えています。上の子が 1 年生～4 年生までは、『学級だより』があり、ほぼ毎月写真付きでクラスの様子を伝えてくださったので、今どんな事に取り組んでいるのか、どんな反応があり、どんな成長があったのか等を知ることができて、とても安心感がありました。まだ 1 年生で何が言いたいのかはっきりしなかったり、上手く伝えられなかったりするの、少なくとも低学年のうち(特に 1 年生)そういった伝達があると安心です。また娘との学校生活についての会話が、更に広がると思います。ただ、先生方も本当にお忙しいと思うので、あまり負担にならない程度の簡単な物で構わないと思います。1 つの意見として、お伝えさせて頂きました。また、上の子の時は、担任の先生を中心に、曜日によって違った遊びを休み時間や昼休みにクラス全体でやるといった取り組みがあったのですが、今はないようです。いつも娘は休み時間「1人で遊んでいる」と言います。担任の先生にもお伝えして、様子を見てみますと回答をいただきましたが、いまだに変わらないようです。もっと日頃から意図的に皆で遊ぶ時間があったら、友達と遊ぶ楽しさを体感し、友達って楽しい、学校って楽しいと思えるきっかけになり、身体も動かせて、ひいては座学も集中出来るようになるのではないかと思います。

⇒貴重なご意見ありがとうございました。また温かい配慮にも感謝申し上げます。学級通信に関しては、基本的に担任の意思に任せており、人数は少ないですが実践している担任もいます。これからも無理のない範囲で呼びかけていきたいと思えます。外遊びに関しては、「1人で遊んでいる」と聞いてのご不安はごもっともです。1年生は南グラウンドと呼んでいる恐竜の広場で、自由あそびや 6 年生との遊びが中心です。週3回の業間体育では、クラス遊びがあるので、昼休みなどは基本自由に行っているクラスが多いと思えます。休み時間は自由にさせて欲しいというご意見(下段)もありますので、バランスを考えて進めていきます。ただ、ポツンと教室に子どもが一人でいることは、余程その子どもの強い意思があれば別ですが、できるだけ担任が多くの友だちと遊べる状況にするべきだと考えます。

業間や昼休みは自由遊びの時間にして欲しいです。

⇒週3回の業間体育は、本校の学校教育施策の大切なものです。体力の2極化、体育の日常化、学級づくりに役立っています。令和6年度の新時程(2/13 より試行開始)では、業間体育のない月水の業間は休み時間を10分から25分に拡大します。昼休みの過ごし方ですが、クラスで遊ぶか自由遊びかはクラスごとに取り決めをしています。

特にないです。学校の様子を聞いても子供の話では分からないので、正直何をしてるのか全く分かりません。

⇒学校での取組がうまく伝わっていないとのこと、残念に思います。教室での様子を見たいというご希望があれば、教頭を窓口としてご連絡いただければ、できる限り対応したいと考えています。

生活全体の工夫などを自発的に考えられるよう指導して頂けるとよいと思います。

⇒子どもたちの自律化が強くと求められている昨今、大変貴重なご意見と思っております。児童会活動や清掃活動など、できることから着手または計画しています。

朝運動と朝学習をする習慣があるのは良いが学校に行く時間が早すぎて、給食前に空腹になっているようです。3、4 時間目の授業を集中して聴くためにも休み時間に軽食取れるようにしてほしいです。

⇒現在、火木金の12:20給食開始を、一律 12:05 開始に変更するよう日課を調整しています。

レギンス、長袖下着など学年クラスによって違うので何が着用可能かを明確にして欲しい。毎年変わるので困ります。

学習着の下に着用するレギンス等で、先生によって違いがあるので統一して欲しい。先日、あるクラスの児童が、レギンスは学校が許可しているはずなのに、履いていると体育を不参加にさせると他の学級の先生に言われたそうです。学校の決まりを先生方も認知していただかないと、子供達は混乱します。

⇒学校側の不徹底をお詫びいたします。申し訳ありませんでした。足首から下までであるタイツだと、けがの処置に手間がかかることから、タイツは望ましくないと考えています。タイツとレギンスを混同していた可能性があり、職員で共通理解しました。レギンスの着用は全く問題ありません。

給食後の歯みがきは再開しないのでしょうか？

⇒コロナ禍が過ぎたことから、歯みがき指導の再開は学校内でも検討中です。校内の水栓の少なさ(教室内に2口、廊下に3クラスで1か所)から、一斉に開始となると昼休みがかなり短くなることが予想されます。ただ、ご家庭の判断で昼食後の歯みがきをさせたい希望がございましたら、遠慮なさらず担任に相談してみてください。

一年の中で先生と子供がお話できる時間はありますか？忙しそうで声をかける時間が一日中ないと聞き、不安になりました(このクラスではないです)。学校として、子供と先生が積極的に上辺じゃないコミュニケーションを取れる時間があるといいなと願っています。

⇒大変重要なことと深く受け止めています。担任が忙しいのは事実ですが、それを感じて子どもが話ができないのは全く間違っています。職員で共通理解を図り、すべての担任や職員が、子どもたちと自由に語り合える時間の確保を目指していきます。ご意見に感謝申し上げます。

いじめに関して、やった方の親にも子供がこんなことしている・どういう事を教えた、など伝えているか疑問。

⇒様々なお考えをお持ちの保護者様と関わっている中で、最大限、心や身体に苦痛を感じた子どもたちの事実が伝わるよう対応しています。多くのケースで、加害側となったお子さんの保護者から「謝罪の言葉を伝えたいので連絡先を教えてください」という話をいただきます。しかしながら、いただいた文面から考えますと、最終的に相手方の保護者の反応がなかったり、学校側の説明が不十分であったりしたことが考えられますので、今後、十分に気をつけて参ります。どうしてもうまくいかない場合には、学校を場として、学校側と関係するご家庭での話し合いも提案しているところです。直接「顔が見える」方が、状況が好転する場合があります。

●教育課程(学習)

国語と算数の授業の割合が多く、少し退屈に感じるそうです。係活動の時間やイベントが増えるともっと楽しいと言っておりました。

⇒学習指導要領で定まっている教科ごとの標準時数があります。低学年では、毎日、国語や算数があります。時間割というよりも、子どもたち自ら学ぶ意欲を育めるような授業内容を目指して行きます。

休んだ日の宿題はどうするのか？やらなくていいのか、他の親に聞いてやるのか？

⇒特に学校全体での取り決めはありません。遠慮なく担任に聞いていただければと思います。お子さんが休んでいる状況も様々で、なぜ休んでいるのかクラスに伝えないことも多いので、この子は宿題はやって、この子はやらなくていい、とはできないでしょう。宿題の内容にもよりますので、その都度コミュニケーションをとっていくことが一番なのではと思います(お子さんの具合が悪い時に、宿題を無理強い

することは無いと思います。夜など、学校に電話できない時間帯であれば、連絡帳に一筆いただければそれで充分です。よろしくお願いいたします。

オンライン授業が出来る環境を作っていただきたいです。印西市の方では、オンライン授業の環境が整っており、オンラインの子供達も教室で授業を受けているように先生が配慮しながら授業を進めているそうです。感染症が流行った場合など、心配しながら登校しなくても良い環境になればありがたいです。宜しくお願いいたします。

授業の様子を動画配信で見られるようにしてほしい。普段の様子を知りたい。

⇒オンライン授業に関しては、環境がまだまだ整っていないと反省しています。八千代市では、学習用具として、日常的にタブレットを持ち帰ることができません。市のセキュリティポリシーに関する縛りや、タブレットの破損や故障に関する事、すべてのご家庭で Wi-fi 環境が整っているわけではないことなどが課題として残っています。ただし、Teams でつないで授業をご家庭に配信することはできますので、今後できるだけご要望に応えるようにします(学級閉鎖などの場合には、担任の健康状態で授業実施の有無が決まるので、一律に対応できるわけではありません。ご了承ください)。

Youtube での限定配信に関しては、個人情報公開に関して、全家庭の同意を得ないと実施はできない面もご理解いただきたいと思います。

以前学校から持ち帰ってきた冊子で八千代市内の他の学校で、牛乳の農家さんが行うモーモースクールという記事を目にしました。食育の面からも勝田台小でも取り入れてほしいです。

⇒体験学習を希望する学校の中からの抽選となり、昨年度は残念ながら抽選からもれましたが、今年度は実施できる予定です(2/15に3年生で実施)。本校でも座学では学べない体験学習を大切にしています。

特に理科や社会の学習が遅れているのがとても気になります。今年度も残りわずか、学習しない部分が出てしまうのではないかと心配です。

⇒中学校での学習のつまづきを考えると、6年生ではどうしても算数に比重がかかってしまい、また学習内容も他教科と比べると、算数は多くの子どもたちにとって難しいです。2月初旬に国語、算数の学力テストがあることも、教科の進度に影響を与えていると考えます。ただし、ご指摘のように履修内容に漏れ落ちがあったり、学習が浅いものとなったりしないよう、配慮していきます。

苦手な単元や理解が不十分なところをもう少しフォローしていただけると助かります。

⇒できるだけ善処できるよう校内で整えていきます。学力テスト等の結果を、個人の評価で終わらせることなく、指導の在り方を振り返ったり、きめ細やかさが足りていないところをチェックしたりする材料としても活用していきます。

SMS のメリットデメリットの教育をもっとして下されると助かります。

⇒情報モラルに関しては、児童の発達に応じてカリキュラムはできていますが、事案が発生した時に、その都度対応するケースが多く、本校としても課題があります。学級指導とは別に、教科の道徳では低学年から系統的に単元が組まれていますので、こちらもご家庭と連携しながら進めていきます。

貸し出し図書で、一度借りた本はもう借りられないと子どもから聞いたが、できれば連続で。

⇒おそらく人気のある本で、借りることができる順番を待っている子がたくさんいるなど、特別なケースだと思います。もし違いましたら、遠慮なく再度ご連絡ください。

各授業でどんなことをやったのか等、年間の方針だったり教えて欲しい。昔は無かったタブレット等で

何をやっているのかが知りたいです。

⇒授業参観や学級懇談会で、できるだけ情報提供していきたいです。

●教育課程(運動)

12月に腕相撲大会が行われますが、腕相撲は最近の小学校ではよく取り入れられているのでしょうか。勝負が一瞬で決まりますし、利き手や組み方に個人差があるため、小運動会に選ばれたことに少々驚きました。

⇒「走力以外でも輝ける子どもたちを引き出したい」昨年度行ったリレー大会は、体育的行事としては素晴らしいのですが、多様な「体力の定義」を考え、アームレスリング大会を行おうと決めました。恐らくどの学校でもやっていないと思います。ご指摘のような懸念材料はクリアできると判断しました。大会を盛り上げてくれた6年生の活躍もあり、概ね趣旨は達成できたと考えています。

運動会で、保護者と子供と一緒に参加できる「2人3脚」を入れてほしいです。でかばん競争でも良い。親子で盛り上がる競技をぜひ、検討してほしいです。単純でわかりやすい、親子での貴重な思い出になると思います。親の年齢など問題はあるとおもいますが、ぜひ前向きに検討してほしいと思います。親を労わる気持ちや助け合えないとできないことを知る良い機会になると思います。お友達相手では本気になれなくても、親と一緒に本気で向かい合えるのではないのでしょうか。

⇒貴重なご意見をありがとうございます。6年生で行う親子競技以外でも…と解釈しました。親御さんにとってかけがえのないシーンになると思います。次年度の運動会で検討します(全保護者がそろわず、特定の子どもが可哀そうな思いをすることを懸念しているのは事実です)。

水泳に関してです。西志津小学校は、ウスイスイミングクラブと提携して水泳の授業を行っているそうです。屋内の為、夏ではなく、他の小学校との兼ね合いもあり、実施時期は毎年異なるそうです。ですが、バスが送迎してくれる。更衣室が男女別にある。プールサイドでは、監視員の方が何名もいて、溺れる子をすぐに見つけられる。教えるコーチは、何年も子供を指導してきたプロであり、正社員の方もたくさんいらっしゃるため、専門的な知識も高い。泳げる子供と泳げない子供をしっかりとわけて、丁寧に教えてあげることができる。屋内の為、天気にも左右されることなく、実施できる。屋内の為、日焼けの心配もしなくても良い。トレイも近くにある。毎日、通常通っている生徒が使用しているため、従業員の方が勝手をわかっている。だから、事故が起きにくい。そして、スイミングクラブも午後通常の利用者の子供が来るまでは、あいている。(子供向けのスイミング施設の場合)。そのために、水を入れ替えたりしなくても良い。あいている時間に小学校の生徒が利用するという、本当に理にかなった使い方をしているのではないかと思います。勝田台小学校も先生の負担や水の管理という面から、本格的にスイミングスクールとの提携を検討すべきなのではないかと思いご提案させていただきます。意味のある体験をしてほしいと思いますし、年に4回の授業で泳げるようになるとは思っていません。ですが、1回のクオリティが上がれば、水泳に興味を持つ子が増え、教室に通う子も増えるかもしれません。また、水の恐怖を教えてあげられる機会のひとつだと考えます。近年、大人の方で水関連の事故を目にします。これは、水の恐怖を知らないで育ったことも要因だとは考えられないのでしょうか。やはり、その道のプロに専門的なことはお任せしたほうが良いのではないかと考えます。ご検討よろしく申し上げます。

⇒ご丁寧に、そしてわかりやすくご教示いただき感謝申し上げます。他市の取組であり詳細は不明ですが、八千代市の場合はプールの老朽化が深刻な場合(例えばろ過機が故障し、機械自体が古く、修繕が不可など)、民間施設の活用を行っている学校があり、実際にその校数は増えてきています。また、これ

は本校には当てはまりませんが、小規模校の場合、児童数に対する水道代の費用対効果を鑑み、民間プールの借用に切り替えている学校もあるようです。本校も望んで自校プールを使用している訳ではありませんが、いずれにせよ、移動バスの借上げなども含めた全市的な予算編成の中での取組と、ご理解いただきたいです。

●生徒指導

ときどき、お友だちと揉めたとか、嫌なことされたといったことを子どもから聞きます。そこまで深刻な話ではなさそうなので、嫌な思いをして悲しかった気持ちは受け止めつつ、やられて嫌だったことは他の人にしないでねと伝えています。個別事象までの連絡は先生方もお忙しいし難しいと思いますので、先生方に無理の無い範囲で学校内での様子がもう少し分かるとありがたいです。

⇒ご配慮いただきありがとうございます。子どもたちの心の問題などは、私たち教育公務員の本務なので、お気遣いに感謝いたしますが、「忙しい」は当てはまらないので、是非ご遠慮なさらず、お電話でも構いませんので担任や学年主任などとコミュニケーションをとっていただきたいです。また、深刻さが増してきている場合には、管理職や養護教諭、スクールカウンセラーもいますので、お声がけください。

子供から聞いた話にはなりますが、授業をまじめに受けない等先生から見てわかりやすい事柄に対してはしっかり指導されていると思う。ただ、休み時間やちょっとした授業中の時間の中でいつも強く言うてくる子(邪魔!!や、ダサ!等)がいても先生が気づかない限り子供も先生に言いづらく、時々我慢しているようです。しかしそういう小さな所から人に対して蔑んだり、馬鹿にするような大人になる要素が生まれると思うので、難しい事とは思いますが、そんな所にも目を配って頂けたらと思います。

⇒わかりました。担任中心に、いただいた情報を共有し、注力していきます。昨今の言葉の乱れは驚くほどで、もはや子どもの問題ではなくなっています。教師自身も気を付けねばならぬと感じることが多々あります。言葉だけではなく、たとえが悪いかもしれませんが、歩行者分離の交差点を斜めに横断しているのは大人だけで、小中学生はきちんと約束を守っています。

騒がしい子供以外の大人しい子供への配慮がされているのか疑問です。高学年なので、ある程度子供に任せて…は理解しているつもりですが、できていない事に関しては先生がしっかりチェックするべき、とも思っています。

⇒あまり表出しない部分であっても、子どもの良さを感じ取り、認めて励まし続けることができる教師を育てていきたいです。また、元気が良いこと自体は素晴らしいことですが、周りへの配慮ということも併せて指導せねばなりません。時には、できていないことを棚上げせず、正面から向き合わせる指導は必要です。ただ、担任の立場で申し上げますと、元気良過ぎる子どもでも、クラスという集団の中で認められ、事があれば、同じベクトルで歩んで行ける仲間となれるまでの営み、学級経営は決して容易いことではありません。ご指摘を真摯に受け止め、これからも諦めず努力していきます。

まずは学校に楽しく通えることを重視しました。引き続き多様性のある教育方針で関わっていただければと思います。

⇒ありがとうございます。本校でも八千代市の教育施策を受け、今後も ESD に積極的に取り組んでいきます。引き続き、多様性や連携性などを重視していきます。

●成績・評価

あゆみの先生からの言葉の欄が面談で伝えた通りだけだったので、がっかりしました。子どもたちは先生からの自分の評価を○か◎かでしか見ることができず、先生が自分を見てくれているという気持ちには

ならないです。

通知表は必要ないと感じる。総合所見の欄には面談で連絡済みと記入されているし、学習状況も面談で教えて頂ける。だったら面談のみにし、教員の負担を減らすべき。

今年よりあゆみに担任からのコメントが省略されており残念に思いました。子供も成長してから読み返し自信になる為、前期後期の記載を希望します。

⇒総合所見は年1回とし、個人面談を重視することに決めました。残念なお気持ちは理解しているつもりです。ご要望にお応えできず、まことに申し訳ありません。

単元テスト(カラーテスト)の結果をその都度持ち帰らせてくれたら、本人の今の勉強状況が分かる材料の一つとなると思います。

⇒ご意見から察しますと、テストの返却が遅いようなので、できるだけ善処できるよう周知します。ご指摘のとおり、子どもたちの学びの振り返りにも必要だと思っています。

●アンケート自体

毎年思うのですが、クラス、名前イニシャルでも特定できて、本音を入れられないようになっているから、このやり方は直した方がいいと思います。

正確な評価を活かすのであれば、イニシャルであっても求めない方がいいと思いました。

このアンケート、特定できてしまうので、本音を入れられないよねといつもママさんたちと話に出ます。やり方を変えてほしい。

⇒昨年度は記名、今年度はイニシャルで実施しました。システム上、個人情報保護の観点から「記名式」ができず、イニシャルとしました。個別に回答が必要だと感じることもあり、無記名には踏み切れずにいましたが、次年度は、無記名方式で行います。

紙でのアンケートを Google フォームのアンケートなど電子化されると、有り難いです。宜しくお願いいたします。

⇒Google フォームのセキュリティポリシーに、「個人情報には載せない」「個人情報については保証できない」旨が記載されており、電子化では対応できない場合がありますが、ご指摘のとおり、できるだけ簡易化できるよう対応していきます。

●連携面

いつも大変お世話になっております。子どもは学校で面白かったことなど、たまに話してくれますが、あまり様子はわからないので、授業参観や運動会以外でも、学校での様子を見られる機会があると、ありがたいなと思います。

コロナ等で仕方ないことですが授業参観等中止になってしまったりで学校での様子を知る機会が少なく、あまりわからないことが多いです。

⇒できるだけご要望にお応えできるよう、例えば、PTA 奉仕作業のついでに子どもたちの様子が見られるようにするなど、これからも工夫していきます。日常の子どもたちの様子、先生や友だちとの関係を見たいお気持ちは、とてもわかります(学校ホームページのブログ「勝小 Now」も毎日ではありませんがアップしていきますので、ぜひご覧ください)。

お知らせのメールの URL の期限切れが早すぎると思います。月一の配信なので、対象月の間は見られるようにしてほしいです。

⇒システム上、2 週間後に消えてしまう設定となっており、ご不便をおかけしています。7月以降、月初め1

<p>回の配信としてしまいましたが、スクリーンショットなどで保存していただくとよろしいかと思います。</p>
<p>怪我をした時に連絡が欲しいです。</p>
<p>⇒子どもたちの安全に関して、徹底しておらず申し訳ありません。再度、周知していきます。</p>
<p>このような学校評価をできるほど、保護者は学校生活のことをよくわかっていません。でもそれでよいと思います。子供たちが主役の場合なので、親は子供から話を聞いたり、何かあれば先生にもすぐ聞ける聞きやすさがある学校だと思えます。先生方にはこれからも子供たちの話を聞いてほしいです。限られた時間の中で難しいことですが、声の大きい子も主張が弱い子も見たいです。</p>
<p>⇒ご意見ありがとうございます。子どもたちの声を聞くことは教師の本務なので、「忙しいこと」は、そぐわないと反省しています。すべての子どもたちの、思いや願い、困り感などを丁寧に受け止められるよう、努力していきます。一番は、やはり担任なのですが、学校としても、子どもたちの声を聞くことができるよう、子どもたちが伝えやすいよう、環境を整えていきます。</p>
<p>年度はじめ等に、授業で使用する各自購入の必要な物(ものさしとかリコーダーとか習字セット)の購入時期、準備する時期の目安がわかればよいと思う。子どもが突然注文書を持ってきて、期日はいつまでか聞くと大体わからないと言われてしまうので…</p>
<p>共働き世帯が増えている中、平日は学童への迎えから自宅に帰るのが19時を過ぎます。持ち物や書類など、事前にわかることであれば、少し余裕を持って提出・持参期限を設けていただくととても助かります。</p>
<p>⇒必要な情報をお伝えする時期や手段で、学校全体としても適切でなかったと感じたことがありました。また、学年により差があったことも事実です。申し訳ありませんでした。メール配信も含め、学校・学年によりなどで、できるだけ早めに情報提供できるように善処します。</p>
<p>子どものことなどで何かあれば、ご連絡いただければ対応します。</p>
<p>⇒ご配慮ありがとうございます。トラブルや困りごとだけではなく、子どものちょっとしたよい行いなど、連絡帳に書いている担任がいます。そのようなことが広がって、学校とご家庭がきちんとつながっている学校を目指して行きます。</p>
<p>いつもありがとうございます。1点のみ困りごとのご連絡です。学校への連絡手段が少ないため、どうしてもお電話での連絡となります。ただし、電話が通じるのが17時までとなるため、仕事終わりには既に電話がかけられない状況です。連絡手段を増やすなど、やり取りのしやすい方法をご検討いただけますと幸いです。</p>
<p>⇒文面から察しますと、緊急性の高い案件の場合と感じました。ご承知の通り、学校現場では働き方改革を推進し、勤務時間外の勤務を極力減らそうと努力しているところです。電話対応に関しては、朝8時から夕方6時までと決めさせていただいています。職員の勤務時間は夕方4時35分までですが、ご家庭の都合も考え、夕方6時までにはしています。とは言いましても、子どもたちの安全に係る緊急の事案に関しては、当該時刻に学校に残っているすべての職員で対応します。夕方6時以降は留守電に切り替えています。音声は確認できますので、メッセージを入れていただければ、状況に応じて返信いたします(電話の近くに職員がいれば対応できますが、翌日の朝になる可能性もあります)。</p>
<p>共働きの為、あまり学校の教育活動やPTAに深入りできない、時間が確保できない状態が続いております。子供の勉強に関しても最低限、宿題を終わらせる事だけ伝え、確認する程度で、これで十分なのか時々疑問に思っております。</p>

⇒まずは、いただいたお気持ちに感謝申し上げます。子どもたちの学びが、学校だけでも十分であることが望ましいのですが、現在の学力観としては、知識の獲得量ではなく、自ら問いを発することや、「解」ではなく正しい「問い」を求める姿勢と認識しています。その観点から述べれば、与えられた課題をこなすだけでは、十分とは言えません。しかしながら小学校は6年間と長く、低学年と高学年では求めるものが自ずと異なってきます。低学年では、課題に対してあきらめずひた向きに取り組む姿、粘り強さはとても大事ですが、高学年では教科書やテストから離れた様々な事象に興味を抱き、疑問を感じとれること、「解」よりも人とのコミュニケーションを含めた「解き方」自体が大切となってくるはずです。お仕事があつての家庭生活なので、時間がない中での家庭教育の難しさは重々承知しています。学校とご家庭の双方が、子どもたちの心に火をつけるような指導支援ができるよう、これからも努力していきます。

毎月の学校や学年のお便りをお送りいただく際の PDF ファイル名→毎回謎のアルファベットのファイル名ですが、内容に則した適当なファイル名をつけていただくと有り難いです。

⇒ご意見ありがとうございます。担当がもっている技術では対応できませんでした。申し訳ありません。

連絡帳を書いてこない日があつたので子に聞いたところ、時間がなくてみんな書いていないとのことでした。親としては、宿題の管理ができないので、できれば毎日連絡帳を書く習慣を作っていたいただくとありがたいです。

⇒ご意見ありがとうございました。多くのクラスが、朝の段階で連絡帳を書くように担任は準備していますが、学校としての取り決めはありません。勝小では、必ず学年で集合し、方面別に担任が引率して下校させています。場合によっては他クラスを待たせることになってしまうので、連絡帳を書く時間がないことも考えられます。子どもたちの日常生活はハプニングの連続なので、突発的に何かが起きることが通常です。そんなこともあり、朝の時点で帰りの連絡帳を書いておくことが定番となっています。いずれにせよ、連日、または頻繁に書いていないことがありましたら、遠慮なく問い合わせてください。よろしくお願いいたします。

保護者からの電話の際、待たされる時間が長い。3分以上も保留音が流れることもあり、繋がってもお詫びはない。仕方ない理由でも、ひとこと、必要。世の中には携帯電話の通話し放題なる契約もあるが、保護者にそれを期待されても困る。

⇒誠に申し訳ありませんでした。非常識であり、接遇に関して再度指導していきます。

学年便りなどのお手紙は、現在メールできてますが、子供も自分でも確認できるよう、可能であれば、学年便りだけでも紙でいただきたいです。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。発達段階に応じて、たしかに学年だよりは必要かもしれないと感じました。学校から配られる紙媒体が多すぎるとのご意見が多く、添付ファイルにした経緯があります。検討していきます。

お手紙などは期日前に配られないこともあり、係の人が配ってくれないとの事ですが、先生はチェックしているのか疑問。

⇒担任が指導、もしくはチェックしきれていないことがうかがわれます。きちんと指導していきます。

●家庭学習

自学ノートのやり方を指導して頂けるとありがたいです。

⇒家庭学習、特に自学の取り組みについて、やり方ひとつで大きな効果が出ることはわかっているつもりです。学年、クラスに差があり、ご要望にお応えできず申し訳なく思っていますが、いただいたご意見を

大切に、共有しながら進めていきます。

夏休みの宿題ですが、低学年では自分で出来ないものが多く親が大変です。学年に見合った子供が1人で出来る宿題を出していただきたいです。

⇒大変だとは思いますが。一方、ある一定の期間、親子で課題に向き合う時間も有意義であることも間違いないでしょう。職員会議でも夏の課題について協議しました。実際、宿題なしでもいいのでは、という考えもありました。ご指摘のとおり、子どもに見合った課題を出すことができるよう、次年度に引き継いでいきます。ありがとうございました。

基本的に不満はありません。が、記入必須という事なので書かなければ、宿題自体はあってよいのですが、我が子に今やってほしい内容と違うというか、算数を理解していないから教えておきたくても漢字ドリルの課題があり、時間的にできず翌日を迎えてしまう事があるなど、時として出された課題が邪魔な時があり困る事はあります。

うちの子に限って言えるのはゲームの時間が長いので、宿題をもっと多くしてくれるとゲームの時間が減っていいなと思っています。自学の時間を増やしてほしいと言ってもやりません。このまま行くと高校受験に失敗する構図が見えて恐怖です。(これは家庭での学習に対する問題でもあるので私が頑張らなくてはいけない事だとは重々承知です)子どものやる気を育てるにはどうしたら良いのか…悩み中です。

⇒宿題の量に関しては、内容も含めて本当に難しいです。ご家庭により、その要望にばらつきがあり、最適解がなかなか見つかりません。「ゲームの時間を減らすため」は多くのご家庭の悩み事と拝察します。宿題が増えれば、必然的にゲームの時間は減るのですが、その分、勉強嫌いを増長しかねないとも言えるので、ご家庭での約束事や取り組み方に頼らざるを得ません。多くの方々が悩まれているこのような話題が、学級懇談会でフリーに語り合えることを目指していきたいです。

クラスによってドリルを先に進めていい、ダメ、のバラつきがあるようです。習い事の都合で、先に進めておきたいのですが、ダメと言われたらしいので、指示のあった日にやっています。個々が計画的に進めても問題ないのでは?と考えます。

⇒ドリル進めが宿題の定番でもあるので、担任の立場からすると、授業の進度に合わせて、みんなが歩調をそろえて進めていくことが「やりやすい」でしょう。ただし、これは担任側の「やりやすさ」であり、子ども側からすると、ご指摘のとおり、個々が計画的に進めていくことが「学びやすい」でしょうし、一番望ましいと思います。少なくとも学年である程度統一できるようにしていきます。

年度初めに、自主学習ファイルがなくなった代わりに音読活動に力を入れたいというお話があったと思うのですが、音読のどのような点に力を入れているのか気になりました。子を見ている限りでは以前と変わらない気がしてしまい。ファイルがあったときの方が記録として残り、やりがいを感じていたように親としては見えてしまいました。

⇒何をやるか、よりも、どのようにやるか、が大切といわれる典型的なケースに思います。貴重な情報をありがとうございました。職員で共有し、音読の目的が薄れ、マンネリ化しているならば、工夫やテコ入れができるよう善処していきます。

●地域

学校周辺の治安が気になります。

⇒以前の爆破予告犯のことかどうかはわかりかねますが、これからも警察や自治会などと連携して、安全安心な学区、地域に貢献できるよう努力していきます。ちなみに前述の犯人ですが、現在も留置されて

いるようです。

●行事

授業参観→毎回人が入れきれず廊下にあぶれてしまっている方々をお見かけします。何かしら工夫し、希望する皆様が教室内で見れると良いと思います。コロナ騒ぎも終わりましたし、土曜参観再開されると良いです。

⇒土曜の授業参観は積極的に検討して参ります。教室内に保護者様が入りきれない状況は、心苦しく思っています。子どもの人数が多いクラスは、廊下に踏み台を置いたところもありました。入れ替え制やご家族1名限定など、いくつかの候補はありましたが、どれもベストな案ではありません。教室内でしっかり参観されたい方は、授業開始前に入っていただくくらいしか考えがございません。アイデアをご教示いただければ、大変助かります。

マラソン大会、相撲大会→コロナでなくなりましたが、永遠に実施されないのでしょうか。職員の方のご負担の兼ね合いもあると思いますが、行事が減った中、再開していただけると嬉しいです。(同意見 マラソン大会計4、相撲大会計4)

⇒マラソン大会、相撲大会の復活を望まれる声は、毎年一定数おられます。マラソンに関しては、マスクの問題が大きいです。現在も、その着用は個人の判断となっており、なかなか外すことに抵抗がある子どもたちがいるのも事実です。様々な安全性を鑑み、実施しない方がよいと判断しています。相撲大会に関しては、今回取り組んでみたアームレスリング大会で、ある程度カバーできていると思っています。いずれにせよ、市内の多くの学校に比べれば、(運動会のフル開催含め)学校行事自体は、多い方だと認識しています。1月末のうたごえ集會も、新たな取組ですのでご理解いただきたいと思います。

ハロウィンイベントが楽しかったみたいなので復活して欲しい。

またバザーなどのコロナ前のような行事ができるとよいなと思います。

⇒PTAの組織改編に際し、一部の方々に多くの負担がかかるイベントは開催しにくいのが現状です。子どもたちも高学年を中心に自ら動き出しており、「ハロウィンがないならクリスマスパーティーを！」と、児童会の子も子どもたちが声をあげ、今回、素晴らしいイベントとなりました。

●学級編制

基本的に学校側との接点が弱く、何か相談がある時に自発的に連絡を入れることで接点が生まれる状況になっております。5年生はクラスを減らしたことで、先生と生徒、先生と保護者の距離が遠くなった印象が否めません。各生徒に対して密に接する機会が乏しく、生徒からのSOSや相談に当たり、相当に強い意志や発信力を持たない限り声が届かないのではないかと心配です。組織の都合で改善は難しいことは重々承知しておりますが、通常学級、支援学級、通級に属する生徒が混在している中、指導・配慮・サポートが求められている場面に敏感に対処する体制が学校側に求められると考えております。保護者側で出来ることも多くあると思います。

⇒ご意見やご厚意に、心より感謝申し上げます。次年度に向けて、子どもたちにとってより良い環境を整えることができるよう、現在、最大限努力しております。人材人員不足は学校教育に限ったことではありませんが、限られたマンパワーを駆使して、これからもがんばっていきます。保護者様のサポートのご提案を活かす方策を見出していきます。

●その他

吹奏楽部の復活は今後もないのでしょうか？

⇒数多くの楽器の技能指導を行うには、それ相応の技量をもった教師が不可欠となります。パート別に先輩から後輩へ、といった引継ぎが行われていた頃は、これをカバーする力が部内にはあったのですが、数年に渡り活動がありませんでしたので、そこが一番大きいです。残念ですが、現状で復活できる見込みは立っておりません。

個々の先生に個性があるのはいいが、方針が違うのは子供が混乱するので困る。

⇒学校教育目標や教育理念は、職員相互に理解し合っていると感じています。現在、学校現場では初若年層が主体となっており、様々な教育課題や困難を解決していくために、一般的には同一歩調、共通行動が求められています。しかし、様々な担任(個性)と出合うことも、子どもたちの人格形成において非常に有意義であると考えています。ただ、ご指摘のとおり、子どもたちが混乱し困っているならば、方針が違うことへの丁寧な説明や配慮が足りていないのが大きいと考えます。貴重なご意見として、今後の学校経営に活かしてまいります。

令和5年度 学校評価アンケート4段階の結果（保護者・地域向け）

		そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
1	子どもたちは、楽しく学校に通っている	72	23	3	1
2	子どもたちは、明るく元気のよい挨拶をしている	43	41	12	1
3	子どもたちは、しっかりとした返事ができている	40	47	11	0
4	子どもたちは、相手や場所を考えて、ていねいな言葉遣いができている	28	53	17	0
5	子どもたちは、通学路をきちんと守っている	66	28	5	0
6	子どもたちは、通学帽子（黄色）をしっかりとかぶって登校している	81	11	5	1
7	子どもたちは、忘れ物をしないで、登校できている	29	54	12	3
8	子どもたちは、家で鉛筆を削ったり、持ち物を確認したりと、翌日の準備を進んで行っている	23	39	27	9
9	子どもたちは、毎日きれいなハンカチ・ティッシュを学校に持ってきている	55	25	14	3
10	子どもたちは、放課後お家の方に「誰と・どこへ・何をしに・何時に帰る」などを伝えてから、遊びなどに出かけている	49	38	9	2
11	子どもたちは、勉強の内容をよく理解している	34	52	12	0
12	子どもたちは、人の話を最後まできちんと聞いている	31	49	18	0

13	子どもたちは、分からないことがあったときに、自分で調べたり、人に聞いたりしている	41	41	15	1
14	子どもたちは、外で体を動かすことが好きである	67	22	9	1
15	子どもたちは、本をよく読んでいます	30	27	33	8
16	子どもたちが、得意な教科を教えてください	国9	算16	音9	体19
		図15	道3	学活6	生3
		理5	社4	言1	外1
		英1	総3		
17	子どもたちは、早寝、早起きができています	34	38	22	3
18	子どもたちは、毎日朝ご飯を食べています	88	8	3	0
19	子どもたちは、進んで宿題やお家で決めた学習に取り組んでいます	40	37	18	3
20	子どもたちは、進んで家の役割を果たしている（お手伝い、掃除片付けなど）	26	40	28	5
21	学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている（ホームページ・メール・配付手紙など）	46	47	6	0
22	学校は、教育に熱心に取り組んでいます	53	38	7	0
23	学校は、安全・安心な教育環境の整備に努めている	55	36	8	0
24	学校は、保護者や子どもたちの悩みや相談に、誠実に対応している	50	41	7	0

25	学校は、子どもたちの興味関心を大切にして、自ら課題を見つける姿勢を育てている	38	51	9	0
26	学校は、座学だけではなく、体験的な学びを取り入れている	57	36	6	0
27	学校は、タブレットなどのICT機器を効果的に活用している	24	44	25	5
28	学校は、友達などと共に学ぶ協働的な活動を取り入れている	54	39	6	0
29	学校は、学習内容や指導方法を工夫しており、わかりやすい授業をしている	42	45	11	0
30	学校は、読書活動を推進している	33	49	14	2
31	学校は、子どもたちが楽しく生活が送れるように努力している	62	35	2	0
32	学校は、子どもたち一人ひとりを大切にす姿勢で支援、指導をしている	48	41	9	0
33	学校は、社会のマナーや集団生活の基本的なルールを子どもたちにしっかりと教えている	53	39	6	0
34	学校は、多様性を尊重し、子どもたち一人ひとりの人権意識を高めようとしている	47	44	7	0
35	学校は、子どもたちの自立に向けて、基本的な生活習慣や規範意識（礼儀など）をしっかりと教えている	45	45	7	1

令和5年度 学校生活アンケート集計結果（児童向け）

	質問内容	ア	イ	ウ	エ	前年度のプラス評価		90
						プラス評価	マイナス評価	
1	学校が楽しい。	70%	23%	5%	2%	93%	7%	91
2	自分は頑張っていると思う。	50%	39%	10%	1%	89%	11%	89
3	先生や友達に明るく元気のよいあいさつをしている。	54%	33%	10%	2%	87%	13%	87
4	人の役に立ちたいと思っている。	64%	26%	7%	3%	90%	10%	90
5	失敗していいんだと思っている	49%	33%	12%	6%	82%	18%	
6	勉強がよくわかる	46%	38%	12%	4%	84%	16%	84
7	自分からすすんで授業に参加している	53%	32%	11%	4%	85%	15%	86
8	分からないことがあったときに、自分で調べたり、先生に聞いたりしている	49%	31%	16%	5%	80%	20%	85
9	タブレットを使って学習できる	65%	22%	7%	6%	87%	13%	80
10	困ったことがあったら、自分から誰かに相談できる	50%	29%	14%	7%	79%	21%	80
11	先生や友達の話最後まできちんと聞いている	63%	32%	3%	2%	95%	5%	94
12	全校で運動する業間体育は楽しい	69%	19%	8%	4%	88%	12%	88
13	休み時間は外で運動したり、遊んだりしている	64%	18%	11%	7%	82%	18%	85
14	英語の勉強は楽しい	54%	28%	11%	7%	82%	18%	87
15	本を読むことが好きである	61%	24%	11%	5%	85%	15%	85
16	将来の夢や目標をもっている	64%	21%	8%	7%	84%	16%	83
17	困っている人がいたら、自分から助けに行くことができる	54%	35%	9%	2%	89%	11%	89
18	いじめは何があってもいけないことだと思う	85%	12%	2%	1%	97%	3%	96
19	早寝早起きをしている	42%	36%	15%	8%	78%	22%	77
20	朝ごはんは、必ず食べている	83%	10%	4%	3%	92%	8%	94
21	家の手伝いをしている	46%	35%	15%	4%	81%	19%	82
22	宿題は必ずしている	63%	26%	7%	4%	90%	10%	
23	宿題以外の学習を自分から頑張っている	48%	28%	17%	7%	76%	24%	80
							15%以上	
							19%以上	

アンケート集計結果から

学校や家庭生活において、各項目とも肯定的な回答が多く見られた。特に「いじめは何があってもいけないことだと思う」、「先生や友達の話最後まできちんと聞いている」、「学校が楽しい。」、「朝ごはんは、必ず食べている」、「人の役に立ちたいと思っている。」、「宿題は必ずしている」は、児童の意識の高さが感じられる結果となった。昨年度同様、高い結果であったことから、本校の中で、児童も教員も高い意識で取り組んでいる項目と言える。

一方、「宿題以外の学習を自分から頑張っている」、「早寝早起きをしている」、「困ったことがあったら、自分から誰かに相談できる」、「分からないことがあったときに、自分で調べたり、先生に聞いたりしている」、「家の手伝いをしている」は、昨年度同様、他の項目と比べ、低い結果となった。家庭に学校教育へのご協力とご理解をいただきながらも、積極的に家庭教育への助言も行えるようにしていきたい。

また、学級内で「話を聞いてくれる」という共感的な人間関係を構築していくとともに、授業において思考し表現する場を多く設ける。さらには、目の前に現れる様々な問題や課題に対する実践的態度を育てる教育課程を大事にする。